

# 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表の集計結果（公表）

公表：平成30年 7月25日

事業所名 ゆめのもり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	曜日、時間帯によって机のレイアウトを変えている。	
	②	職員の配置数は適切である	7	1	必要に応じて、個別に対応することがある。	子どもに応じて柔軟に職員の配置をしてく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	手洗い場にステップを配置するなど。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	部分的に行われている	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	4	現在実施中	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	5		今後公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		適切な第3者を見つけていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		月一回行っている。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	臨床発達心理士が子どもの様子や、保護者からの意見を参考にサービス計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	準備中	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		スタッフ会議で話し合っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		月ごとのテーマを決めている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3	子どもの自主性を尊重している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		日々の活動の中で行っている。	集団活動をたくさん行って行きたい。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	行われている日もあれば、そうでない日もある	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	送迎の関係でできていないが、連絡ノートやミーティングなどで情報共有に努めている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1	モニタリング表を作成し、支援の記録を記載している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		モニタリング表を作成し、支援の記録を記載している。	

	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4		様々な活動を組み合わせるようになっている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		常に管理者が児童発達管理責任者が出席している。	
	②1	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5		年関係買う、行事予定等を配布してもらっている。	
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			医療ケアが必要な子どもを受け入れていない	
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		今後情報交換できるようにしていきたい。
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				今のところそのような利用者はいないが、今後検討したい。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		今のところ予定は無い。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9		併設している学童保育との交流イベントを行っている。	交流イベントを定期的に行う。
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4		管理者や児童発達支援管理間が参加している。	
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		送迎時に保護者様に、積極的に様子を伝えたり、要望を聞いたりしている。	
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	臨床発達心理士が保護者の相談を行っている	
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		支援の内容については送迎時にスタッフが	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		臨床発達心理士が対応するようになっている。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	親子参加イベントの企画、開催している。	
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情担当者がいる。	
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		Facebookなどで日々の活動状況などを定期的に配信している。毎月の予定表やチラシを配布している	
	③5	個人情報に十分注意している	8		個人情報は事務所で鍵のかかる戸棚に保管してある。	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		絵カードなどの支援ツールを使ってコミュニケーションが取れるようになっている	
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9		地域の様々なコミュニティ、サークルの人々をイベントなどに招待している。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		感染症マニュアルは常に見えるところに張ってある。	緊急時対応マニュアルと防犯マニュアルも職員の目に付くところに貼るようにする。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		年2回の訓練を行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		職員研修の中でやっている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	4	スタッフ会議で話し合っていきたい。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	保護者に食物アレルギーについての書類を提出してもらっている。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			スタッフ会議で周知徹底していく。